

2025年2月19日

一般質問



荒井靖行

①白井工業団地に上水道を！



千葉県の内陸工業団地で一番大きな工業団地

①-1 【概要】 千葉県最大規模の内陸工業団地

1966年 千葉県開発公社によって開発・分譲開始

1967年 第1工業団地（54ha）整備

1974年 第2工業団地（44ha）整備

・当初東京都23区下町エリアから移転が多かった

・製造業

鉄鋼・プラスチック・金属・非鉄金属・一般機械精密器具

・その他

運送業・金属材料卸業・建築土木工事業・資材機器等リース業
物流センター・産業廃棄物処理業・クリーニング業など

➡もうすぐ60年

①-2 【背景】 成田空港機能強化:輸出額日本一



※B滑走路の延伸及びC滑走路の整備については、東関東自動車道及び圏央道を含む道路等に多大な影響を与えるため、今後関係者と協議・検討していく必要があります。
※1,000haと大規模な敷地拡張となるため、展開候補地については、今後、関係者と協議・検討していく必要があります。

①-2 【背景】 北千葉道路延長



- 2027年度団地➡16号へのアクセス道路開通

①-3 白井工業団地実態調査 (2019年12月)

①製造業の変容	2015年	→	2019年	
食品	10社	→	4社	▲ 6社
化学品	30社	→	4社	▲ 26社
金属製品	78社	→	50社	▲ 28社
情報通信機器	15社	→	0社	▲ 15社
輸送関連製品	28社	→	3社	▲ 25社
鉄鋼	10社	→	17社	7社
※製造業以外	97社	→	146社	49社
②海外取引なし	236社 (79.5%)			

①-3 【稼げる白井】 白井工業団地への期待

- 成田空港を活用した輸出品製造
 - 精密加工品
 - 食料加工品
 - 完成品など

➡ 多彩な製品・高付加価値製品の製造

①- 4 白井工業団地実態調査 2 (2019年12月)

上水道整備について

飲料水に不安・不便 129社 (43.4%)

水質：109社

水量：18社

- ・ 水質が悪く部品の洗浄ができず毎日運搬
- ・ 飲料水を用意できず購入
- ・ 第2工業団地水道組合も含め井戸水は地下水量不足
- ・ 食料加工食品 製造できず進出を断念

「稼げる白井市」＝「白井工業団地」最大の課題

①-5 上水道整備要望に対する執行部回答

2019年度 アンケートによる需要調査

2021年度 事業化を検討

2022年度 整備は重要、印旛郡市広域市町村圏
事業組合水道企画部と話合いを開始

2023年度 整備は重要、印旛郡市広域市町村圏
事業組合水道企画部と話合い中

①- 6 印旛広域水道用水供給事業（2010年）

市町村等	給水区域内 人口(人)	給水人口① (人)	1日最大給水量 (m3)	1日最大利水 供給量② (m3)	②/① (m3)
成田市	68,847	62,895	44,010	21,510	0.34
佐倉市	209,393	201,017	88,880	48,120	0.24
四街道市	106,200	106,200	47,170	20,160	0.19
八街市	71,135	53,351	22,860	15,970	0.30
印西市	28,367	21,885	13,650	13,050	0.60
白井市	19,035	14,875	5,440	5,440	0.37
富里市	58,342	46,674	24,240	17,240	0.37
酒々井町	30,543	30,238	16,950	9,450	0.31
印旛村	15,918	13,011	7,890	7,690	0.59
長門川(企)	33,492	29,619	17,320	8,070	0.27
合 計	641,272	579,765	288,410	166,700	0.29

②白井市民大学校の拡充を



②-1 白井の地域資源①

旧平塚分校



延命寺観音堂



②-2 白井の地域資源②

今井桜並木



しろい環境塾



②-2白井の地域資源③

清戸の泉（船橋CC内）



谷田里山保全地区

